










素材別「制震ダンパー」比較表

縦軸に「制震材(オイル、ゴム、鋼材)」、横軸に主な比較ポイントをまとめています。左下のメモ欄も、ぜひご利用ください。

※各項目に関する詳しい内容は、「はじめての『制震ダンパー』情報まとめサイト | まもるんぱー！」をご参照ください。

	費用感	住宅工法 (木造軸組工法 2×4工法)	後付け	サイズ	メリット	デメリット
オイル	 主に1本10万円前後 人件費がかからない	 両方に対応する製品有 (要確認)	 リフォームや インバージョンで 可能な場合有	小型 施工性が良い 軽くて小さいため 作業員1人で設置可	<ul style="list-style-type: none"> ●微震から大きな揺れまで 効率良く吸収できる ●繰り返し発生する 余震にも効果を発揮 ●比較的トータルコストが 抑えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ●オイル漏れの懸念 ●住宅面積によって設置 本数を要する場合有
ゴム	 運搬・設置時の作業 員数、副材で異なる	 主流は木造軸組工法 のみだが2×4専用も有	 基本的に新築向け (後付けは要相談)	大型 作業員数を要する お施主様安心感を 得やすい	<ul style="list-style-type: none"> ●粘弾性体の性質を持ち 小さな地震から 効果を発揮する ●メーカー知名度 	<ul style="list-style-type: none"> ●気温など激しい環境 変化に対する懸念 ●工法や住宅タイプなど 設置可能範囲に条件有
鋼材	 大型の場合も比較的 安価なケースが多い	 主流は木造軸組工法 のみだが2×4専用も有	 基本的に新築向け (後付けは要相談)	大型 製品により重量大 副材の有無によって 総コストに変動有	<ul style="list-style-type: none"> ●特殊な剛性を発揮し、 主に大きな揺れで 効果が期待できる ●構造が比較的シンプル 	<ul style="list-style-type: none"> ●鋼材の種類によって 重量が大きく異なる ●繰り返し地震による ダメージと変形への懸念

【メモ欄】

※「はじめての『制震ダンパー』情報まとめサイト | まもるんぱー！」調べ

はじめての「制震ダンパー」情報まとめサイト

まもるんぱー!
<https://www.mamorumper.com/>

サイト運営・監修 / 全研本社株式会社 (Zenken Corporation)